

第二地銀協地銀の平成 11 年度中間決算の概要

平成 11 年 12 月  
(社) 第二地方銀行協会

会員行の平成 11 年度中間決算の概要は次のとおりである。

(注) 11 年度中間決算計数および対前中間期比増減・率等は、原則として、みなと銀行(本年 4 月に合併したため)および東京相和銀行、国民銀行、新潟中央銀行、幸福銀行、なみはや銀行を除く 54 行ベースである。

1. 諸利益の状況(表 1 参照)

1) 業務純益は、資金利益が増加に転じたことや、一般貸倒引当金繰入額が取崩超過となったものの、債券相場の低迷によりその他業務利益が大幅に減少したことにより、前中間期比 4.7%と 2 年連続の減益となった。

2) 経常利益は、業務純益が減益となったものの、個別貸倒引当金繰入額等不良債権処理費用が減少したことや、株式の売却によりその他経常収益が著増したこともあって、4 年ぶりの増益となり、平成 8 年度中間決算以来の経常黒字となった。なお、赤字行は本年 3 月期に比べ 17 行減少した。

3) 中間利益は、経常利益が黒字に転じたことや、昨年度から税効果会計が導入されたことにより、法人税等調整額 75 億円が計上され、税金費用の減額効果も反映して、4 年ぶりの増益となり、赤字幅は縮小した。

表 1. 損益状況

(単位: 百万円、%)

項 目	11. 中			(参考) 10. 中		
	実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
経常収益	888,721	24,679	2.7	1,085,748	53,890	4.7
経常費用	850,152	76,669	8.3	1,155,495	32,153	2.7
経常利益	38,547	51,987	386.8	69,765	21,726	45.2
(業務純益)	(173,228)	(8,494)	(4.7)	(202,694)	(22,595)	(10.0)
特別利益	9,961	4,538	31.3	15,531	6,546	72.9
特別損失	18,785	13,334	244.6	411,826	387,918	1,622.5
税引前中間利益	29,721	34,112	776.9	466,060	403,098	640.2
法人税、住民税 及び事業税 (10年度中間期は 法人税及び住民税)	43,586	19,305	79.5	24,607	9,054	26.9
法人税等調整額	7,547					
中間利益	6,336	22,355	77.9	490,689	394,038	407.7

(注) 1. 10 年度中間期は、なにか銀行および福徳銀行を、11 年度中間期はみなと銀行および東京相和銀行、国民銀行、新潟中央銀行、幸福銀行、なみはや銀行を含まない(以下同じ)。

2. 諸利益が赤字から黒字に転じた場合、増減率の計算はできないが、以下では便宜上絶対値による比較をしている。